

Person of employment support

就労支援の人

障がい者の就労においては、様々な立場から関わる支援者の存在が欠かせません。ここでは、支援者の方々に「人となり」や「経歴」、「モットー」などを自由に語っていただきます。

テレワークを活用した障がい者就労の仕組みを提供

株式会社D & I 代表取締役

杉本大祐氏

Sugimoto Daisuke

株式会社D & I の事業内容一例

障がい者雇用コンサルティング / 有料職業紹介 / 在宅雇用支援サービス
「エンカク」 / 障がい者の就職・転職総合サイト運営 / 定着支援 等

正義感や義理人情が好きなき子供時代

私は福井県福井市に生まれ、周りは海と山、歩いて2分で日本海という場所で育ちました。幼稚園から中学まで38人で1クラス。9学年上から9学年下まで、顔と名前はほぼ一致していました。周りも自分のことを良く知っている環境の中で、あえて恰好良くいうならば、正義感が強い子供だった気がします。「義理人情」といったものも好きでした。

ちなみに、姉が一人の二人姉弟でした。実家は繊維工場を経営しており、父が三代目で私も継ぐ気マンマン。小学校の文集では、将来の夢は「跡継ぎ」と書いていました。結局、工場は継ぎませんでした。

障がい者雇用と出会うまでの道のり

東京の大学に進学し、当時はアルバイトに注力。特に某大手居酒屋チェーンでは、売上や原価の考え方がアルバイトまで徹底されており、とても多くのことを学ぶことができました。その後、新卒で大手出版社に就職。そこでは百科事典などの訪問販売の営業を行いました。2か月で100人の新卒のうち40人が辞めてしまうという厳しい環境でしたが、私はうまく成績を残すことができました。連日、朝10時から深夜1時まで働いていましたが、実家が1年で360日24時間稼働の工場だったため、そのあたりは抵抗感がなかったのかもしれない。

障がいを持つ方々を企業戦力に変えたい

26歳の時に人材サービス会社に転職。これが人材ビジネスの入口でした。そして次は、ヘッドハンティング事業を行う会社へ。この会社は経営幹部層の人材紹介を行う会社だったので、ここでは派遣事業部の立ち上げを行い、責任者となりました。さらに、障がい者雇用関連の事業も一人で立ち上げるのですが、これが私と障がい者雇用との出会いになりました。

感じていた障がい者雇用の「違和感」

そして2009年、(株)D&Iを立ち上げます。前職で障がい者雇用と出会ってからは、障がい者雇用を「生涯の職」として、ビジネスをしようとして決めていたのです。というのも、当時、多くの福祉施設や行政機関などに赴きましたが、その際、彼らが障がい者雇用に対し「腫物に触る」という感覚を持っている印象を受け、これに対して何とも言えない「違和感」を感じたからです。

最初にお話した通り、私は38人のクラスですと育ち、成長してきました。その中には、今思えば発達障がいと思われるような友人もいて、彼らと一緒に、共に何かをするのは当たり前でした。だから、「腫物扱い」に違和感を感じていたのです。

私は、障がいを持つ方がいて当たり前、共に奮闘できる雇用環境や社

会をつくりたい。障がい者雇用に関する業界を私が活性化させ、競争原理を働かせることができれば、障がい者就労者が今よりも恵まれた、やりがいある就労環境におかれることにつながると思います。

コロナ禍を経て労働の感覚を変える

現在のD&Iでの事業を通して、障がい者を義務から戦力へと変えたいと考えています。そして日本の労働生産性を上げていきたい。現在のコロナ禍は、非常に大きな変わり目だと思えます。今こそ、日本人の労働の感覚を変えるべきなのです。

今までは、人に仕事がついてきました。だから、仕事ができる人ほどタスクが割り当てられていく。結果、やらなくても良い仕事までやっている。本来は、仕事に対して人がついていくべきなのです。ここで、テレワークなども積極的に活用すると、障がいを持つ方々の活躍が、一層期待されるものとなるでしょう。

株式会社D&I

< 本社 >
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町 3-3
竹橋 3-3 ビル 5F
TEL : 03-5577-6100
< 大阪営業所 >
〒541-0046
大阪府大阪市中央区平野町 2-5-8
平野町センチュリービル 2F
TEL : 06-7878-5570
<https://d-and-i.jp/>

